

第 137 回東アジア歴史文化研究会のご案内(岡田英弘の歴史学を語る－日本人による新しい世界史の誕生)



第 137 回東アジア歴史文化研究会のご案内

この度の研究会は、東洋史家・東京大学教養学部講師、宮脇淳子女史に「岡田英弘の歴史学を語る－日本人による新しい世界史の誕生」のテーマで語っていただきます。今年 5 月 25 日、東京外国語大学名誉教授、岡田英弘氏が逝去されました。岡田氏は、二十六歳で日本学士院賞を受賞したあと、「歴史とは何か」をテーマに、学閥によらない独自の道を切り拓き、歴史学に新しい金字塔を打ち立ててこられました。その研究領域は、シナ、朝鮮、満洲、モンゴル、チベットにも及びます。岡田氏は、日本人は実は誇るべき歴史を持った世界に冠たる民族であると述べ、独創的で斬新な歴史学を提唱してこられました。今回、その岡田英弘氏の業績を偲び、「岡田史学」の醍醐味を、妻である宮脇淳子女史から学んでまいりたいと存じます。

日 時 2017 年 7 月 27 日(木)午後 6 時 30 分～8 時 45 分

場 所 常円寺・祖師堂地下ホール

新宿区西新宿 7-12-5 電話 03-3371-1797

テーマ「岡田英弘の歴史学を語る－日本人による新しい世界史の誕生」

講 師 宮脇淳子氏(東洋史家・東京大学教養学部講師)

参加費 2,000 円

連 絡 東アジア歴史文化研究会(事務局:花田成一)

TEL:080-7012-1782

Eメール:e-asia@topaz.ocn.ne.jp

※どなたでも自由に参加できます。皆様方の参加をお待ちしております。レジュメを準備しますのでお手数ですが、ご連絡いただければ幸いです。



宮脇淳子氏プロフィール

1952 年和歌山県生まれ。京都大学文学部卒業、大阪大学大学院博士課程修了。学術博士。専攻は東洋史。大学院在学中から、岡田英弘(東京外国語大学名誉教授)からモンゴル語・満洲語・中国史を、山口瑞鳳(東京大学名誉教授)からチベット語・チベット史を学ぶ。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員、東京外国語大学、常磐大学、国士舘大学などの非常勤講師を歴任。現在、東京大学教養学部非常勤講師。最近は、ケーブルテレビ、インターネット動画でモンゴル史、中国史、韓国史、日本近現代史の講義をしている。著書に『モンゴルの歴史』『清朝とは何か』『世界史のなかの満洲帝国と日本』『真実の中国史[1840-1949]』『真実の満洲史[1894-1956]』『韓流時代劇と朝鮮史の真実』『真実の朝鮮史 1868-2014』『真実の朝鮮史 663-1868』『かわいそうな歴史の国の中国人』『悲しい歴史の国の韓国人』『教科書で教えた真実の中国近現代史』『日本人が教えた新しい世界史』『どの教科書にも書かれていない日本人のための世界史』など多数の著書がある。 <http://www.okamiya.sakura.ne.jp/index.html>

